

第1章 （仮称）産業ミュージアム基本構想・基本計画の策定背景【本編P 1～】

（1）策定目的

（仮称）産業ミュージアム（以下「産業ミュージアム」という。）の基本理念・コンセプト・具体的な機能等を整理していくため、「産業ミュージアム基本構想・基本計画（以下「本構想・計画」という。）」を策定し、令和11年度中のオープンに向けて、計画的に産業ミュージアムの整備を進めていく。

（2）産業ミュージアムを取り巻く資源・価値

①整備予定地の立地環境

- 産業ミュージアムとして整備する旧理化学研究所板橋分所（以下「旧板橋分所」という。）の建造物は、史跡公園の整備予定地である国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」に現存している。
- 整備の対象は「物理試験室」と「爆薬理学試験室」で、近くには、自然と調和した桜並木と遊歩道がある。
- 整備予定地の加賀地域は、教育施設と公共施設が多いことに加え、居住人口に占める0～19歳の割合が区内で最も高く、ファミリー層が集積している。

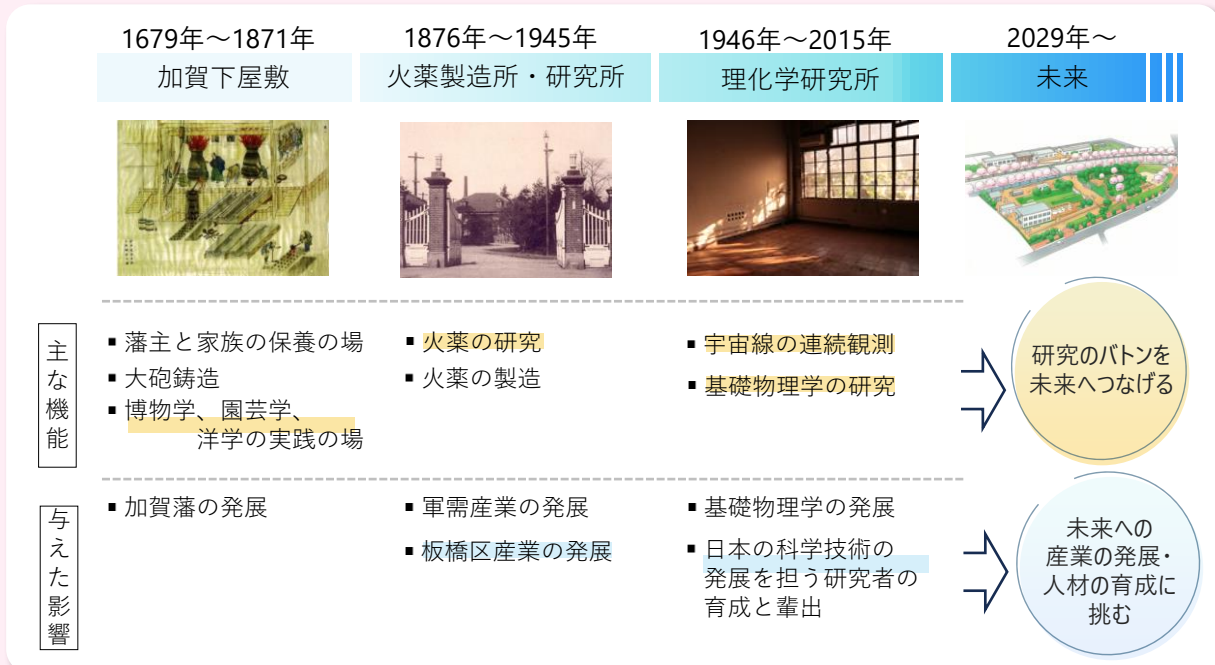
②整備予定地の変遷

- 史跡公園を整備する国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」は、江戸時代から明治初期まで、広大な加賀藩前田家の下屋敷の一部であった。
- 当国史跡の3つのエリアを含む加賀地域一帯は、明治9年から終戦まで近代的な火薬製造所及び研究所が設置されており、旧板橋分所の建造物においても火薬・爆薬の研究開発が行われ、最先端の技術と科学が強く結びついていた。
- 戦後復興期の旧板橋分所では、先進的な科学技術研究の拠点として日本の科学技術の進歩に向けた基礎研究が継続的に行われた。



物理試験室の外観

【本構想・計画の方向性を導くストーリー】



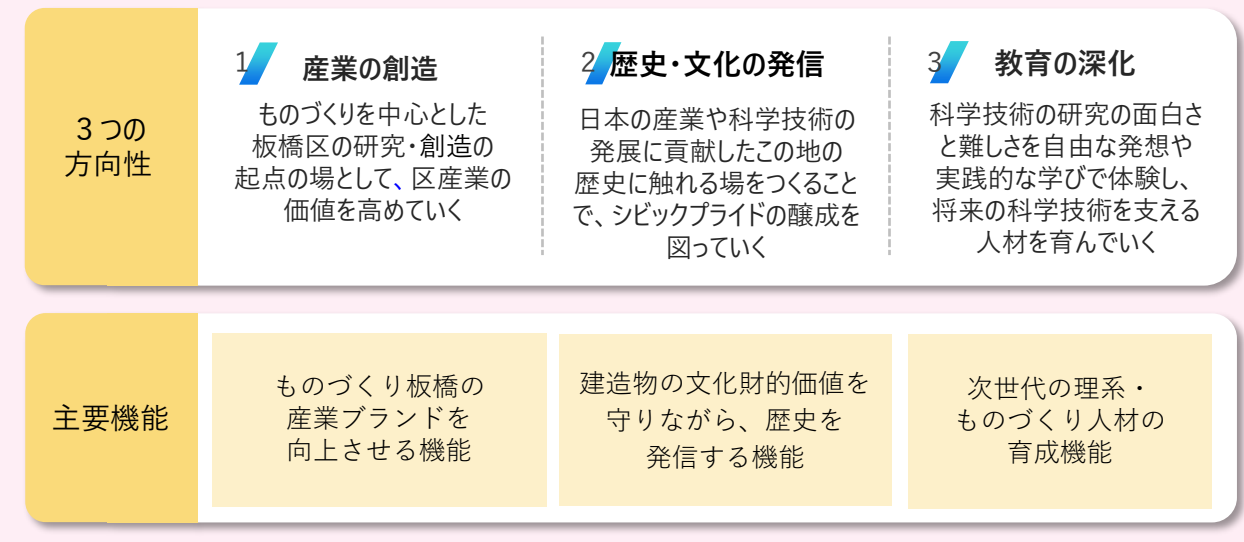
第2章 （仮称）産業ミュージアム基本構想【本編P 7～】

（1）基本理念・基本コンセプト

当地の歴史に紐づく区産業の発展や研究の軌跡の発信と体験を通じて
板橋の産業ブランドを向上させるとともに
次世代の産業を担う人材や
理系人材を育む拠点とする



（2）方向性・主要機能



【今後のスケジュール（予定）】

令和7年度

- 9月下旬 区民環境委員会報告 「本構想・計画（中間のまとめ）について」
- 10月下旬 庁議報告
- 11月上旬 区民環境委員会報告 「本構想・計画（素案）について」
- 11月中旬～11月下旬 パブリックコメントの実施

- 1月中旬 庁議報告
- 2月中旬 区民環境委員会報告 「本構想・計画（原案）について」
- 3月下旬 本構想・計画の策定・公表

令和8年度

令和9年度

～10年度

令和11年度

- 建造物内部の整備デザインの検討
- 基本設計・実施設計
- 整備工事、グランドオープン